



平成20年度

エネルギー対策特別会計における補助・委託・交付金事業

CO₂削減のための事業ガイド

世界的に大きな問題となっている

地球温暖化を防止するために

何をすべきなのか？

その問題にまっすぐに取り組む人々を

私たちは応援しています。



環境省



責任と行動
地球との約束

6%削減の達成に向けて

～ 地球温暖化問題への取組～

環境省では、
技術の開発や製品化、ビジネスモデル構築、設備整備、
モデル地域事業などによりエネルギー起源二酸化炭素の排出量削減と
クリーンエネルギーの効率的活用を促進する地方公共団体や
公的機関、民間団体への助成事業を展開しています。

具体的にはこんな取組に支援しています。



技術開発・ビジネス支援

早稲田大学
地球温暖化対策技術開発事業
本庄・早稲田地域での
G 水素モデル社会の構築

水素エネルギーは、エネルギー消費による排出物が水であるため、環境にやさしいクリーンな次世代エネルギーとして注目されています。

この事業では早稲田大学の提唱のもとに、複数の企業・民間団体の共同で農業・工業廃棄物からのグリーンな水素の製造とその貯蔵、水素ガスを利用する燃料電池システムなどのエネルギー変換技術といった総合的な水素エネルギーシステムの確立とその実用化のモデル構築を目的としています。その他にも、環境教育、環境付加価値製品の普及推進などを図ることにより地域に貢献していきます。



市民参加のカーシェアリング



技術開発・ビジネス支援

バイオエタノール・ジャパン・関西株式会社
地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業
建設廃木材を利用した
世界で初めてのバイオエタノール製造施設

この事業は、建設廃木材などから、燃料用のバイオエタノールを製造するという、従来になかった新たなビジネスモデルとして取り組みました。食料と競合しない廃棄物系のバイオマス資源を有効活用し、温室効果ガスの削減を実現します。

この事業の展開として、生産されたバイオエタノールをガソリンと混合して、E3（エタノール 3%混合ガソリン）を製造し、自動車に供給する実証試験が、大阪府域で行われています。



バイオエタノール生産プラント



新エネルギー事業

LLP 佐久咲くひまわり
メガワットソーラー共同利用モデル事業
地域全体に
1メガワットの太陽光発電を導入

地域企業や自治体などが所有する施設などを活用して、1メガワットという大規模な太陽光発電システムを構築し、得られたクリーンな売電を主な収入源として、太陽光発電を事業化していきます。また、共同利用モデル事業の観点から、子供たちへの環境教育支援やクリーンエネルギーを使用したものづくり支援なども行っております。



メガワットソーラーシステム